

# 磐城時報

日刊 廿七  
編輯 磐城石城郡平町新屋町十四  
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四  
發行 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四  
郵政 磐城石城郡平町新屋町十四  
定額 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元  
廣告 第一版一文字一日一元 第二版一文字一日八角 第三版一文字一日六角  
印刷 磐城石城郡平町新屋町十四  
電話 磐城石城郡平町新屋町十四

## 愈々白熱化して来た 平町の町議戦

### 殆んど五里霧中の運動で 不安の氣漲る候補者

平町會議員の改選も愈々刺す處氏の行爲を選舉違反であること其  
正味二日となり、所謂最後の五筋に告訴した、告訴の結果如何  
分間の域に入つたので、各候補は公平な司直の裁きによつて判  
者の奮闘真に目ざましいものが明するであらうが、如何に候補  
ある、今回の選舉は従前と異り者であると言へ、友人知己の慘  
戸別訪問、個々の面接といふ事状を見舞ふは人道に當然の事  
が禁じられてゐるので得票の胸恐らく大多數の候補者も高橋氏  
算用は從來の如く適確にはゆか同様な舞ひをなした事は寧ろ當  
算なる想像から割り出して計然の事、かゝる行爲を殊更  
算してゐるため候補者にとつて告訴された事について一般では  
は一人で四百票位集めたと豪語却つて高橋氏に同情をよせてゐ  
し乍らも尚ほ不安の氣に満される  
てゐるやうな有様で、周囲の取  
沙汰がやかましいのみで實際は  
五里霧中の間を彷徨してゐる  
いふ運動よりである。

## 同情集る

平町白銀町から立候補した高橋 龍松氏は最初優勢を傳へられて  
ゐたが最近に至り他候補の侵襲 勢非ではないが油断をすれば如  
をうけて苦戦状態に入つた折柄 何なる結果を見るやも知れない  
去る二十五日平町附近大洪水の 危険な状態であるため関係者は  
際高橋氏が仲間町方面に赴いた 不安を一掃す可く不斷の努力を  
處、同方面の被害多しと惨状目 づけてゐる。

も當てられぬ光景を自撃し同情 に堪へず友人二三名に對し若干 の見舞品を贈つたが、この事を 知つた平町居住猪狩某は右高橋 四軒町佐々木龍若氏は既に町治

## 油断の出来ぬ 國府田候補

鍛冶町公認の國府田直良氏は鍛 冶町の有権者が他町に比べてと 割合に少いのに加へ、堂の前か ら瀧澤俊平氏が名乗りあげたの

## 猪狩候補

四丁目猪狩平氏は立候補以來 人氣よく形勢有利を傳へられて 有権者が安心するやうな事では 一大事であるとして候補者以下 一同が嚴重警戒中である。

## 俄然苦戦

佐々木龍若氏

▲投票立會人 會川卯三郎、星 野清吉、山野邊義政、眞木桓  
▲海軍記念日 けふ五月 二十七日は海軍記念日なので平 町在郷軍人分會海軍班では自動 車で宣傳ビラを撒布した。

▲錦村に 違反勃發か 石城郡錦村村議改選は激烈を極 め植田署では嚴重警戒中の矢先 去る二十四日同署では候補者正 木某を召喚何事か取調を行つて いるが、二十六日更に選舉運動 員並に有権者數名を召喚取調を 行つたので果然選舉違反と見ら れてゐる、形勢はますます擴大 せんとする模様である。

▲出炭制限 一割五分 常磐各炭礦では礦主會議の結果 過般各社から委員を擧げ常磐全 炭礦に亘り現貯炭量の調査を行 つた事は既報の如くであるが、 その結果約十六萬噸の貯炭に上 つて居るので去る二十三日午後 一時から石城郡湯本町松栢館に 於て常磐七大炭礦々主會議を開 き貯炭減少の對策につき協議し た結果来る六月から九月まで四 箇月間一割五分の出炭制限を すすことになつた。

▲添 寢 中 磐崎村大字藤原三井炭礦坑夫三 船惣太郎妻イシ(三四)は去る二 十四日午前七時頃男児を分娩し 後一般状態は當選確實と見ら れて居るが石川保次郎、大橋勝 治、志賀三郎、庄司卷造、塩 谷雄周、木幡清、松平孫一、佐 藤賢良、松永七之助等では其他は

▲原町通信 當町の町議戦も余す處五日と差 迫つたので立候補者は申す迄も の立候補者ありて激戦を極めて 居るが何れ四名の落伍者が出来 る譯だ。

▲高き二十間の 斷崖から墜落 永戸村大字合戸農業政安(三九) は二十四日午後二時頃好間川に 薪木拾ひに行き歸途大字細戸草 野幸一方で友人三名と飲酒し午 後八時半頃歸途途中足を踏み外 して高さ二十間位の好間川に墜 落岩石に頭部を打ちつけ頭骨を 粉碎して即死した、同家は今日 まで溺死、縊死等を出し今回が 三度目の變死である。

▲庭球大會 關東北庭球大會は二十六日午前 九時から平町元平商業學校コ ート、九龍コートの二ヶ所で舉行 されたが参加組四十余組、准決 勝でAコート仙鐵後藤、小島組 Bコート仙鐵門馬、島組兩組共 仙鐵が残つたので、門馬、島組 棄權し後藤、小島組が優勝と決 した。

▲疾の高級内服藥 「ダイヤサン錠」 平五 山野邊藥局

卒此微誠を諒せられ御援助を 賜はり度切に奉懇願候 原町々會議員候補者 庄 司 卷 造

快戰を豫想さる、 中等校野球戰 四中等校懸命の練習 愈々六月二日に近づく

本社創立十五週年紀念事業であ何れも互角で向ほ一段の奮闘を 要すべきものである。兎角泣く 六月二日平町磐城中等校庭で舉 行する筈で、参加する磐城、相 お氣の毒な方三人は出来る譯で 馬、田村、安積の四中等校野球 選手は目下懸命に練習中で當日 は華々しい試合が演ぜらるゝで ありと察せられてゐる。尚ほ 磐城、安積兩中學校のメンバー 左の如くである。

▲安積中學校 木田原島藤星村分藤 鈴木松齋星吉國齋 投捕一三遊左中右

▲磐城中學校 林平藤妻林本藤野橋 小大佐朝小坂佐管高 補欠一三遊左中右 補欠 西原、大平、吉田

▲關東北庭球大會は二十六日午前 九時から平町元平商業學校コ ート、九龍コートの二ヶ所で舉行 されたが参加組四十余組、准決 勝でAコート仙鐵後藤、小島組 Bコート仙鐵門馬、島組兩組共 仙鐵が残つたので、門馬、島組 棄權し後藤、小島組が優勝と決 した。

▲疾の高級内服藥 「ダイヤサン錠」 平五 山野邊藥局

卒此微誠を諒せられ御援助を 賜はり度切に奉懇願候 原町々會議員候補者 庄 司 卷 造

時報文藝

◆あゝなまけな  
町はづれ 祈美子  
あの人の事を思ひながら  
胸のときめきををさへて  
フイト又鏡の前に立つた  
かがやがしい雨のひとみを見  
ては  
香のハンカチで口をおくた

◆廿七日ヨリ四日間

藤間林太郎主演

獨身競争

歌川八重子助演

松本田三郎、高津愛子主演

甲州嵐

谷崎十郎、大森梅子主演

次郎長 森の石松

外傳 小金井勝特別助演 (封切)

有聲座

そして一人でニッコリして  
あきの来るまでそこを立たう  
としない私だつたんだ あ  
の頃は  
何も彼も一つとして手につか  
ない私だつたのだ あの時  
何と言ふ馬鹿げた私だつたの  
だらう  
まるで氣狂よりも馬鹿な私だ  
つた

驚いた!!!

こうまで安いとは

平・加納活版所の印刷物

嬉しさと言ふこんなか弱い三  
字で  
こんな大きな人間がぐにやぐ  
にや  
まけてしまふなんて  
あゝなまけな  
なまもつとく強い  
そんな事にまけない  
強い心の持主にならな  
つたか  
あゝなまけな

平町會議員候補者

關内正一氏は

穩健着實公平無私の人格者こ  
して議員最適任と認め茲に推  
薦し極力その當選を期す

平町南町  
山田盤磨

清き一票を

町會議員候補者  
坂本隆藏氏へ

平町一丁目  
明智淺吉

町會議員候補者

宇佐美友二郎君

生命をも賭する無産大衆の味方  
として推薦す

平町田町五  
松本清之丞

町會議員候補者

石山治三郎君を

最適任と認め推薦仕候

平町材木町  
榎田榮太郎

平町會議員候補者

荒川淺次郎君

を推薦し當選を期す

平町立町十二  
立花輝久

平町會議員候補者

井上茂作君は

平町治の功勞者にして識見高遠奮闘努力の  
士たる井上茂作君の爲に何卒熱烈なる御同  
情と御援助を賜り度く紙上を以て懇願仕候

平町三丁目  
柏原幸次郎

町會議員候補者

馬目武之助君

志操堅實の闘士として推薦し  
極力當選を期す

平町五丁目三  
馬目良之助

平町會議員候補者

佐々木龍若君

人格識見卓越し町治に對する功勞  
多き努力の士として推薦す

平町四丁目三五  
遠藤斌夫

町會議員候補者

根本品藏君を推

平町月見町二十五番地  
推薦者 根本一馬

大衆の味方として

佐々木健一郎君に

御投票を懇願致します

榎龜小路  
前澤文太郎

平町會議員候補者

高橋龜松君は

人格識見共に優れ平町會議員として適任者  
と認められ候につき茲に同氏を推薦し極力  
その當選を期す次第に候

平町白銀町十二番地  
推薦者 柏木勝利

三萬町民の公僕として

熱烈なる意氣と涙ぐまじき決意を以て立てる

緑川喜三郎氏

を當選せしめたく義侠に燃ゆる  
有権者諸君の御同情に懇ふ

平町榎龜小路五番地  
有権者 石川武志 八